

黎明

第2号（卒業式特集号）

平成24年3月1日（木）発行

北海道標茶高等学校PTA事務局

卒業生の皆さんへ

北海道標茶高等学校PTA会長 日向 義紀

厳しかった冬の寒さが和らぎ、今年も新たな希望に満ちた春が巡ってまいりました。この佳き日に、標茶高校卒業を迎える生徒の皆様と保護者の皆様にPTAを代表し、心よりお祝い申し上げます。

また、諸先生方におかれましては、西田校長先生を先頭に生徒一人ひとりに懸命に関わって下さいました。その先生方の姿勢を保護者として敬意を持って見続けてきました。今日の目を迎えることができたのも、諸先生方の三年間の教えと導きの賜物かと思えます。卒業して行く生徒たちをこれからも温かく見守っていただけますようお願い申し上げます。保護者を代表いたしまして、深く心より感謝を申し上げます。さて、めでたく卒業を迎えられた生徒の皆さん、卒業誠におめでとうございます。

「不撓不屈」を建学の精神とする本校三年皆さんは本校で学ぶべき全課程を修了し、栄えある卒業証書を手に入れました。それは皆さんの弛みなき努力と、保護者の深い愛情、そして熱心に指導された先生方の間の学びを通し、礼節と品格を備えた標茶高校の卒業生として、皆さんは明日からそれぞれの進路へと旅立ちます。この意義深い門出にあたり、心から幸多かれと祈念するとともに、一つだけお願いがあります。

「不撓不屈」の意味を辞書で引くと、「どんな困難にあつても決して心がくじけないこと」とあります。これから、皆さんが歩みだす遠い未来への道のりは、非常に険しく、幾多もの困難が待っている事でしょう。しかし、どんなに困難な状況に直面しても、諦めることなく、前に進むための、更なる強い心を作り、持ち続けてほしいと思えます。強い心、それは、勇気であり、思いやりであり、優しさであり、意志であります。また、社会に貢献し、生き抜くための力になる事と思えます。皆さんを知る、全ての人がそれを望み、願っている事を忘れないでください。

卒業生の皆さんのこれから進む道はそれぞれですが、将来の目標を持ち、その実現に向けて、常に努力を惜しまないで欲しいと思えます。皆さんが、今後ますます社会で活躍されますことを、心から祈念いたします。

終わりに、保護者の皆様に一言お礼を申し上げます。三年間の高校生活の間にお子様方は心身共に大きく成長し、この日を迎えました。時にはご苦労もあつたこととは思いますが、今、感慨無量のことと推察いたします。この間、陰になり日向となり、お子様を育み、支えてこられた保護者の皆様に、改めてお喜び申し上げます。本当におめでとうございます。そして、これまで皆様が本校及びPTA活動にお寄せいただきましたご支援とご協力に対しまして心からお礼を申し上げます。ありがとうございました

若い力で、新生「日本」を創造する

北海道標茶高等学校長 西田 丈夫

例年になく厳しい冬にも、日々長くなる陽の光に春を感じ、卒業式の日が、今年も何事もなかったように訪れようとしています。しかし、ちょうど一年が過ぎようとしている東北大震災の被災地では、あたりまえに訪れるはずであった卒業式を迎えられず、また本来とは違った形で迎えざるを得ない高校生や家族が大勢いらっしやることを忘れてはなりません。そして、本校では今年も平穏な内にこの日を迎えられたことに、例年以上に感謝の気持ちを持ちたいと思います。

さて、この一年を振り返る時、やはり震災のことを避けて通ることは出来ません。今なお三千人以上の行方不明者、全国に散らばる三十万人以上の避難生活者やご家族のことを思うと心が痛みます。

日本はユーラシア大陸から別れ、大陸プレートとの動きに乗り今の列島を創ったと、幼いときから教えられてきました。そういうことで言えば、これからも必ず今回のような震災に日本中が遭遇することとなります。一億年先かもしれませんが、それは明日かもしれないということなのです。今回の震災はまさに明日は我が身のことなのです。

一年前、「がんばろう日本」「がんばれ東北」のスローガンのもと、様々な制度や考え方が大きく変わり、苦労はともなっても日本人の考え方に良い変化をもたらしてくる、そのことが犠牲になった方々へのせめてもの報いのように思ったのは私だけではないはずです。

しかし、一年が経過しての現状はどうでしょう。決してどんどん良い方向に向かっているとはい言えない実情です。

今、解決しなければならぬ「復興計画と予算」の具現化、「がれき処理の方法」、「放射能の問題」、また別の視点かもしれませんが「年金の問題」や「沖縄の基地問題」どの課題を取り上げても、先送りに出来ない、またしてきたつけをまた先に送ろうとしていることばかりです。そして、その送り先こそ皆さんの世代と云うことになります。

もちろん一国民として、私にもその責任の一端を感じないわけにはいきませんが、時間は後戻りできません。歴史を見ても大きく時代を変化させてきたのは「若いエネルギー」です。誰もが「坂本龍馬」ように行動は出来ませんが、彼のように、明日を考える意識を持つことは出来ます。卒業生の皆さんには憂うべき日本から、新時代へ、新しい日本を創造する一翼を一つずつ担ってほしいと思えます。

最後になりましたが、三年間の長きにわたり、本校教育の推進にご協力をいただいた卒業生保護者の皆様に心よりお礼を申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今日で高校生活を終わってしまうことにどこか寂しさを感じているのではないのでしょうか。しかし、それ以上に新しく開かれる自分の未来へ胸を膨らませていることと思います。

この3年間の高校生活で皆さんは多くの事を学んだのではないかと思います。仲間と過ごした日々、勉強や部活に励んだ日々、全ての日々が皆さんの心の中で青春の1ページとして心に刻み込まれていることでしょうか。

今日から、皆さんは一人ひとりが別々の道を歩んでいくことと思います。その中で、大きな壁にぶつかり立ち止まってしまふことがあるかもしれません。その時は、標茶高校で培ってきた経験、そして「不撓不屈」の精神を思い出して下さい。きっと皆さんの力となり支えてくれるはずですよ。

最後となりますが、標茶高校での思い出を胸に、それぞれの道へと歩んで行く皆さんのご健勝とご活躍を心からお祈りいたします。

担任から卒業生へ

3年A組担任 田原 仁

3年生・保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。標茶高校での学校生活はいかがでしたか？きつと充実した3年間を過ごせたことと思います。1年時の宿泊研修、2年時の見学旅行、さらに毎年のS高祭や体育大会、合唱コンクールといった学校行事。どれも思い出深い経験となったのではないのでしょうか。

入学以来担任をさせていただき、皆さんからたくさん喜びや感動をいただきました。時には思いが伝わらなかつたり、私自身の力量不足を思い悩んだりもしましたが、今はすべて懐かしく思い出されます。皆さんと出会い、3年間を共に過ごし、今日の卒業の日を迎えられたことは、教師としてこの上ない喜びです。

4月からは新しい環境で生活することとなります。社会人としての一歩を踏み出す人や、大学や専門学校で学習に励む人。それぞれの場所で一層活躍する姿が目に見えます。皆さんの人生がより充実したものとなるよう、心から応援しています。

保護者の皆様におかれましては、これまでの温かいご協力や厚いご支援、誠にありがとうございました。卒業を迎え、立派に成長した姿を頼もしく感じていらつしやることと思います。至らない点も多くありましたが、微力ながらお子さんたちの進路実現のお手伝いができたと自負しております。卒業担任として、お子さんたちのさらなる飛躍を期待しております。

3年B組担任 林 雅也

3年生の皆さん卒業おめでとうございます。皆さんは3年前の入学した時の気持ちを覚えていますか。君たちの不安と緊張でいっぱいだった表情を今でも覚えています。3年経った今、新たな道を歩もうとしている君たちの表情は期待と希望に満ち溢れているように感じます。この3年間で遅くなった証ですね。けれど決して忘れないでください。君たちがここに至るまで、多くの人たちの支えがあったということを。友達、家族、先輩、後輩、身の回りの大人たち、君たちに関わる全ての人たちが、君たちの成長を陰で支えてくれていたということを。その人たちへの感謝の気持ちを忘れず、そしてこれからも周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れずにいてください。そして、あとは『やるかやるか』です。皆さんの今後に期待しています。

3年C組担任 梅川 悟史

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。3年間、標茶高校での仲間との勉強、生活はいかがでしたか。たくさん絆を作ることが出来たのではないのでしょうか。皆さんと同じ月日を過ごしてきて、それが達成できていることを感じました。もちろん3年の間には友達同士でぶつかったり、一人悩んだりもあつたと思います。その中でも分かち合えたり、嬉しさを共有できたりあつたはずですよ。皆さんの繋がりを重ねて、皆さんは毎日一歩一歩成長していつて、絆を結んでいったと思います。皆さんはこれから社会人になる者、学生、様々な進路に進みます。新しい環境で辛いこと、逃げたいこと沢山出てきます。でも皆さんには3年間を乗り越えてきた経験があります。辛いときには乗り越え方を思い出しましょう。成長した自分に自信を持って、これから一歩一歩成長していつて欲しいと思います。

北海道標茶高等学校 平成23年度卒業生(10期生)進路希望状況 (平成24年 2月29日現在)						
進路希望	希望者数	内定者数	男子	女子	進路希望先(人数)	内定率
国公立大学	8	6	2	4	帯広畜産大学(1+1)、室蘭工業大学(1)、札幌市立大学(1) 釧路公立大学(1)、北海道教育大学釧路校(1)、	75
私立大学	7	7	3	4	法政大学(1)、酪農学園大学(2+1)、 札幌学院大学(1)、京都光華女子大学(1)、札幌大学(1)	100
短期大学	4	4	2	2	札幌国際大学短期大学部(1)、北翔大学短期大学部(1)、 大谷大学短期大学部(1)、釧路短期大学(1)	100
専門学校	17	17	9	8	北海道中央調理技術専門学校(3+1)、札幌科学技術専門学校(1) 愛犬美容看護専門学校(2)、北海道情報専門学校(2) 釧路専門学校(1)、北海道ハイテクノロジー専門学校(2) エイテツネイルーティスト学院(1)、北海道歯科技術専門学校(2) 札幌リゾート&スポーツ学院(1)、経専医療事務実業専門学校(1)	100
看護学校	2	2	0	2	釧路市立高等看護学院(1)、釧路防災看護専門学校(1)	100
各種学校	5	5	4	1	北海道立農業大学校(1+1)、北海道立釧路高等技術専門学院(1) 北海道農業協同組合学校(1)、北海道別海高等学校専攻科(1)	100
進学者合計	43	41	20	21		95.3
就職(町内)	8	6	3	3	(有)こすもす(1)、釧路トヨタ自動車(株)(1) 標茶町農業協同組合(2)、麻野牧場(1) (有)標茶営農サポートセンター(1)	75
就職(管内) (標茶町除く)	21	18	9	9	(株)丸成鈴木建業(3)、(株)ダイテツ(1)、(株)マルア阿部商店(1) (株)アイティコミュニケーションズ(1+2)、(株)アーリーグループ(1) 東北海道日野自動車(株)(1)、(株)三ツ星レストランシステム(1) 厚岸漁業協同組合(1)、(有)ときわ(1)、ネットヨタ釧路(株)(1) (有)M&Y(1)、(特)老人デイサービスセンター釧路町やすらぎの郷(1) (有)コネクト(1)、NPO法人地域生活支援ネットワークサロン(1)	85.7
就職(道内)	1	1	0	1	北海道バス(株)(1)	100
就職(道外)	2	2	1	1	(株)インスマタル(1)、(株)ヨーカコーポレーション(1)	100
就職(自営)	2	2	1	1	農業自営(1+1)	100
公務員	4	4	3	1	標茶町役場(1)、自衛隊(1+1) 北海道釧路北部消防事務組合消防職員(1)	100
就職者合計	38	33	17	16		86.8
総合計	81	74	37	37		91.4